

市民文芸

短歌

令和六年度阿南市文化祭
秋季短歌誌上大会 選

市長賞
背に五感集めし選手はネット際味方のサーブ待
つ目鋭し 廣瀬 艶子

議長賞
新聞の戦争ニュースをがつしりと麻紐十字に括
るゴミの日 中原きみ子

教育長賞
水張田に映る竹やぶ 筍を掘りいし亡夫の背が
よみがえる 東明 貴美

優秀賞
苦吟する老人だとは思ふまい憐れむように人は
見て過ぐ 小畑 定弘

秋ものに衣替えせし百歳の母の小さく見ゆるこ
の朝 金本ひろみ

〈金輪際知りませんから〉と声に出す深夜に走
らす車の中で 安本 生美

越えて来し川の藻草の匂いして焼かれし鮎は有
田の皿へ 喜来富士子

互選賞一位
「アッチ向いてホイ」曾孫と遊ぶ涼み台天国の
夫よ「コッチ向いてホイ」 勢井 恒子

互選賞二位
十年間口から食べて逝きし子よ初盆のお料具は
母の手作り 紅露 勝子

互選賞三位
賑わいし門前町の通学路たった一人の小二が走
る 湯浅かや子

俳句

第五十三回阿南市文化祭誌上俳句大会

市長賞
母と来て花野に降ろす車椅子 神原 鹿山

市議会議長賞
畝一つ立てて一服秋の空 鈴木 順子

市教育長賞
足下は朝霧の海祖谷泊り 西崎 鈴子

俳連賞
弟を偲ぶ故山や法師蟬 田中 栄子

山車の子の募集ポスター秋祭 宮崎三千代

夫逝きて荒れたる庭や草の花 岡久 玲子

くちびるの厚き魚拓や豊の秋 中川よし子

朝練へ走る自転車処暑の風 前原 真理

薪割の野外活動秋の空 神野千鶴子

よき事を母に聞かせし今年米 金本ひろみ

秋風や旅のしおりの届きおり 吉崎 晶子

いつしかに母遠くなり萩の花 東 弥生

空海の修行の聖地秋の虹 岡本 隆子

新米の頬につく児の恵比須顔 久米 千草

ポケットの団栗見へる園児服 田木 勲

川柳
祭り寿司母のユズ酢が蘇る 鈴木レイ子
うれしいね感謝してると子供から 多田紀久代
コタツ守り猫と一緒に丸くなる 二階千代美
満開は百歳ですよまだ蕾 西田 修身
蕾にはゆつくりしると散る枯葉 橋本 征介
気に入らず無視で抵抗弱い妻 若木アヤ子
生きる事へ貪欲になる万歩計 渡邊ろまん

一般応募
米寿過ぎ女は紅を離さない 島尾美津子
百迄はまだまだあると孫の言う 泰地 重美
保身する知恵を学んだ団子虫 武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

新年書感
内外騒然迎歲時 市田 嘉則
九旬馬齡感懷滋 歳を迎うる時
霜辛雪苦向誰說 感懷滋し
但賦窓前梅一枝 誰に向かつてか説かん

新年書懷
熙熙乙巳草堂中 吉形 和恵
八十五年無寸功 草堂の中
華髮雙飛身好在 寸功無し
辛盤笑貌坐春風 身は好在
春風に坐す

夜坐感秋
灑氣滿盈流水頭 高橋 静雄
清風皎月入雙眸 流水の頭
晶晶玉露蟲聲好 双眸に入る
長夜一吟詩又幽 虫声好く
詩又幽なり

